



来年の「梅大使」10人

毎年恒例の梅まつりをはじめとした水戸の観光をPRする「二〇一五年水戸の梅大使」（水戸の梅まつり実行委員会主催）の審査会が五日、水戸市の県三の丸庁舎で開かれ、水戸の新たな「顔」が選ばれた。新大使たちは年内に着付けやマナーの研修、水戸の名所の勉強に取り組み、来年いっぱい活動する。

今回は県内外の十八〜五

来年いっぱい活動する

「2015年水戸の梅大使」たち 市内で

水戸の新たな「顔」決定

十歳の九十四人から応募があり、県内の二十〜三十二歳の女性十人に決定。男性二人も応募したが、いずれも落選となった。

選ばれた三村陽美さん（三〇）は「ひたちなか市」は「今年七月まで一年間留学した中国では、日本に興味を持つ方が大勢いた。海外にもアピールできれば」。鬼沢千尋さん（三〇）は「水戸市」は「梅大使は幼いころからの憧れ。一人でも多くの方に水戸の魅力を伝えられるよう、精いっぱい務めたい」と目を輝かせた。

（妹尾聡太）

「水戸の梅大使」決定

来年の10人を選出

水戸市の観光PRを来年1月から1年間担う「水戸の梅大使」を選ぶ審査会が5日、水戸市内であり、18

50歳の応募者94人の中から10人が選ばれた。

この日、第1次審査を経て最終審査に臨んだのは23人。水戸京成百貨店の西村寛社長を委員長とする計10人の審査委員から、「選ばれたら今のお仕事は？」「体力に自信は？」「最高の笑顔をみせて」といった

質問や注文に、ハキハキと明るく応じていた。

茨城大4年の白土由梨さん(22)は、2年ぶりの挑戦

で選ばれた。高校1年のとき、梅まつり会場の借楽園で梅大使と一緒に写真に納

まってくれた。それ以来の夢だったという。

「そのころ常陸太田市に引っ越したのですが、離れたからこそ、住んでいた水

戸の良さが分かってきました。梅大使として一人でも多くの方に、その良さを伝えていきたいです」と目を輝かせた。

白土さん以外の次期梅大使は次の通り（敬称略、

番号順）。

- 鬼澤千尋(21) 水戸市▽三村陽美(30) 〓ひたちなか市▽高橋祐里(29)▽浦井彩加(24)▽鈴木智美(29)▽武田かおり(28)▽大和田菜々(20)▽上山梯子(29)▽竹内冴加(32) 〓以上、水戸市



上段記事（カラー）：東京新聞

下段記事（モノクロ）：朝日新聞